

ごみ対策推進課
☎055-934-4743

水道総務課
☎055-934-4862

お子さんが成長して着られなくなった服を、服の思い出や今必要としている人へのメッセージを付けて交換してみませんか。

第2回Xchange～子ども服交換会～

とき 3月12日(土)、10時～14時30分
ところ サンウェルぬまづ3階可動間仕切り会議室
※当日、直接会場へどうぞ。



◆参加方法

- ①当日交換したい服(120cmまで)を持参して、窓口で持ち込む点数を申告(持ち込む点数の上限は10点まで)
- ②会場に用意してあるエピソードタグに、サイズ・男女別・服の思い出や貰い手へのメッセージを記入し、出品する服につける(タグを事前に自宅でつける場合は、概ね名刺大の大きさとして下さい。)
- ③受け付け後、会場内にあるハンガーラック等に掛けてディスプレイ
- ④1点の持ち込みにつき、気に入ったものを1点持ち帰る
- ⑤窓口で持ち帰る点数を申告
※母子健康手帳を持っている妊娠中の人は、持ち込みなしで、3点まで持ち帰ることができます。

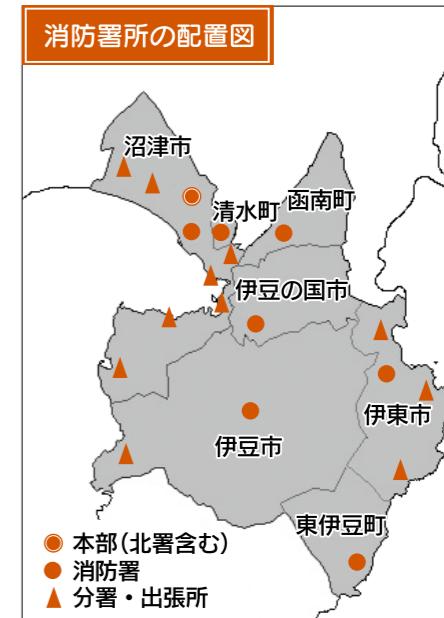


※持ち込む服は、洗濯済みで汚れ・傷みのないものに限ります。スタイル下着、靴は対象外です。エコバックを持参下さい。転売目的の参加はご遠慮下さい。
※余った衣類はリサイクル業者に引き渡すなど、資源として再利用します。

沼津市、伊東市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、函南町、清水町の4市3町の5消防本部は、広域化して消防事務を共同で処理する一部事務組合「駿東伊豆消防組合」を設置し、「駿東伊豆消防本部」として業務を開始します。



本部位置 寿町2-10(現沼津市消防本部)
本部組織 消防部(総務課、予防課)、警防部(警防救急課、通信指令課)
署所数 8署、4分署、7出張所
職員定数 609人
車両数 消防車両等115台、救急車両24台
管轄人口 約44万人
管轄面積 約922km²



▶ 消防広域化のメリットは ……………

1 迅速で効果的な出動による住民サービスの向上

消防本部の規模が大きくなり、保有する車両等が増えことから、初動時や第2次以降の出動体制が充実するとともに、統一的な指揮体制のもと、高機能消防システムにより迅速で効果的な災害対応が可能となります。

2 人員配置の効率化による現場体制の充実・高度化

事務部門や通信指令部門の効率化を図り、そこから創出される人員を現場活動要員として配置できます。また、配置人員の増加により、高度及び専門的な知識・技術を持つ人材育成ができ、質の高い消防サービスが提供できます。

3 高レベルな施設や資機材等の計画的な整備

財政規模の拡大により、はしご車などの特殊車両や高機能指令台など、高度な施設・資機材等を計画的に整備することが可能となります。



▶ 消防広域化のQ & A

Q 消防団も広域化するのですか?

A 消防団は現在と変わりなく、広域化されません。沼津市消防団の事務の所管は、消防本部から市役所危機管理課に移りますが、今までどおり、連携・協力体制は維持されます。

Q 119番通報の仕方は変わりますか?

A 通報方法そのものが変更になることはありません。また、消防広域化のために2月1日から運用開始した駿東伊豆地区消防指令センター(北高島町)では、広域的な出動体制の運用を行っているため、災害現場に近い隣接市町から救急車等が来るメリットがあります。



ぬまづの宝100選にも選ばれている泉水源地内にあり、私たちにおいしい水を送る要の施設である送水管理センターが、耐震性や電気機器等の設備を強化し、3月25日(金)にリニューアルします。

送水管理センターとは

富士山の雪解け水が湧き出る泉水源地のほか、市内各所にある水源地や配水池を管理し、直接各家庭に安全で安心な水道水を送り届ける要の施設です。

非常時も安定して送水できる施設に

施設の耐震性の向上や大型モニターによる各水源地や配水池の監視など、管理体制を強化しました。また、自家発電装置を設置したこと、停電時にも泉水源地からの送水が可能となり、より安定して水道水を送り届けることができます。



おいしいぬまづの水をSNSでPR! ぬまづの水 Facebook

水に関する写真や豆知識、水道部のイベント情報をお届けしています!
<https://www.facebook.com/numazunomizu>

送水管理センターのリニューアルに伴い、泉水源地を一般公開!

とき 3月27日(日)、10時～15時
ところ 泉水源地(清水町八幡)
内容 施設見学や利き水、野点での抹茶の無料サービスなど

4月1日(金)から駿東伊豆消防本部スタート

消防総務課
☎055-920-9100